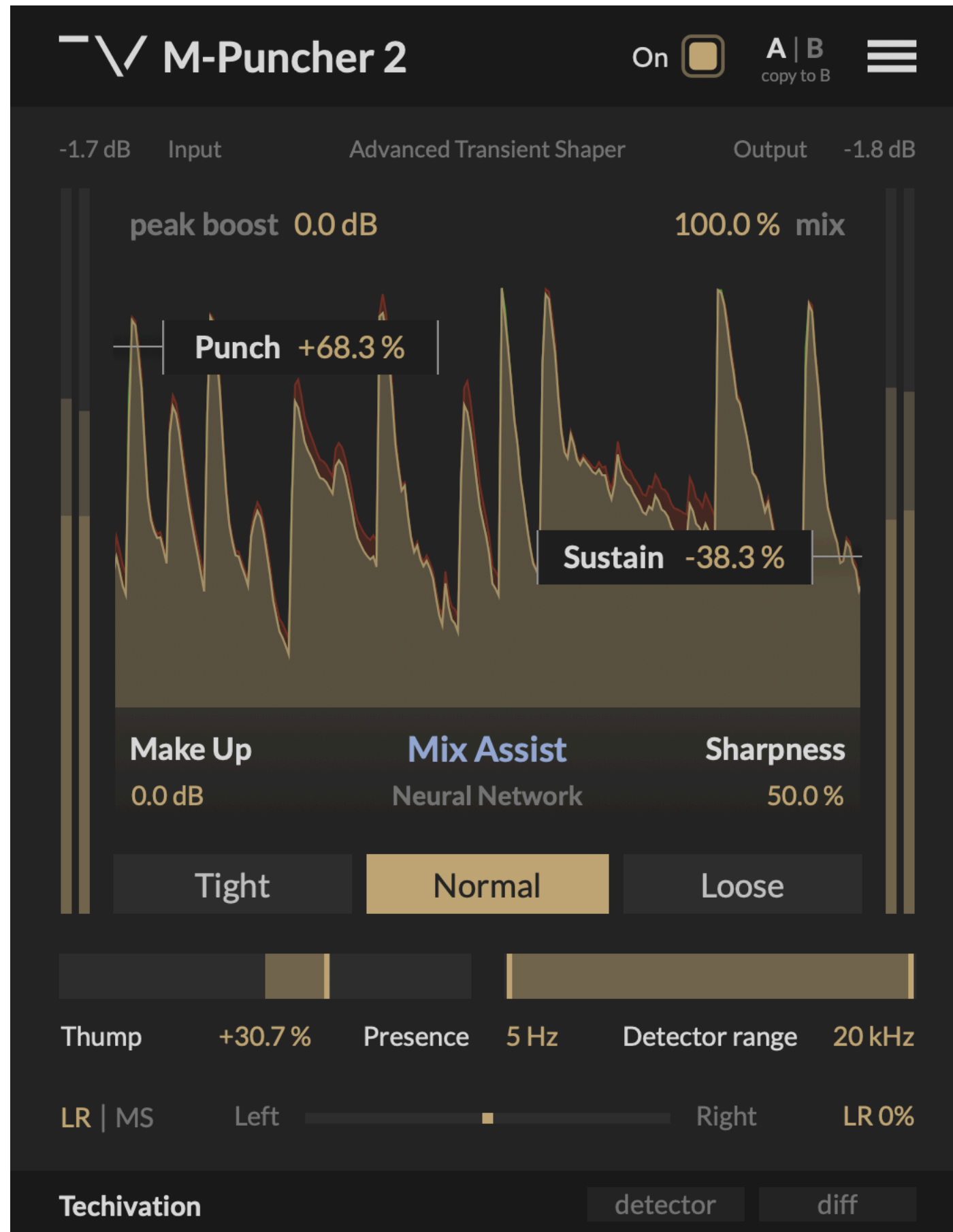


Techivation M-Puncher 2

ユーザーマニュアル



Techivation M-Puncher 2

概要

M-Puncher 2は画期的なトランジェントシェイパーであり、ピークレベルを上げることなくあらゆる音源にパンチとインパクトを加えます。オーディオのアタックとサステイン部分を精密に制御でき、トラックのダイナミクスを完璧に彫刻する作業をこれまで以上に迅速に行えます。

M-Puncher 2には、アタックの音色調整、周波数依存型ターゲティング、インテリジェントな設定提案といった高度な機能が満載されています。

Techivation M-Puncher 2

M-Puncher 2の新機能

自然なパンチ感でピークを上昇させない

他のトランジェントシェイパーは、予測不能なピークレベルの上昇によりミックスのバランスを崩すことがあります。M-Puncher 2では、ピーク上昇を完全に排除することに成功しました。そのため、ピークレベルを全く変化させずに、トラックにパンチ感とインパクトを加えることが可能です。

より伝統的なトランジェントシェイパーサウンド（増幅されたアタック）をお求めの場合は、新搭載の「Peak Boost」コントロールで、許容するピーク増加量を精密に設定できます。

トランジェントシェイピングの進化

M-Puncher 2はトランジェントシェイピングを新たな次元へ引き上げます。ピークを制御する再設計されたダイナミック・トランジェント・サチュレーションは、より有機的で自然なサウンドを実現。さらに新開発のコンテキスト認識型コンタリングにより、ピークレベルの増加をゼロまで抑えつつ、アタックにさらなるパンチと強調を加えることが可能になりました。

Techivation M-Puncher 2

攻撃特性の精密な制御

新搭載の「Sharpness」パラメーターにより、単体のドラムからギター、さらにはフルミックスに至るまで、あらゆる音源に最適なパンチ感を調整可能。M-Puncher 2は、鋭く集中したインパクトから柔らかく開放的なシェイピングまで、そのレスポンスを深く制御します。

ユニークなアタック・トーン形成

M-Puncher 2では、従来の「Thump」コントロールを拡張した新機能「Thump-Presence」スライダーにより、アタック・トーンの制御性をさらに向上させました。これにより、トラック全体の音色バランスを損なうことなく、アタック音に高域の輝きを追加するか、低域のインパクトを強化するかを選択可能です。さらにリニアフェイズ・フィルターを採用しているため、位相の問題は一切発生しません。

より強力なサステイン制御

M-Puncher 2の「Sustain」コントロールは、トラックの密度とアンビエンスに強く作用し、より有機的で自然なサウンドを実現します。これを上げるとオーディオのボディ感を強調でき、下げるとよりドライで打楽器的なサウンドになります。

Techivation M-Puncher 2

強化されたステレオイメージの安定性

M-Puncher 2のMid-Side処理モードは、ステレオイメージを完璧に維持するため一から再設計されました。ステレオバランスを完全に維持したい場合は「**MS**」モードに切り替え、各チャンネルを個別に処理したい場合は「**LR**」モードをご利用ください。

インテリジェントMix Assistant

M-Puncher 2の新機能**Mix Assistant**は、オーディオを分析し、トラックのインパクトを形作るための最適なスタート地点を提案します。プリセットを閲覧する時間を無駄にせず、ワンクリックでカスタマイズされた設定を手に入れましょう！

プラグインの動作を可視化

M-Puncher 2は波形ビジュアライザーを備えた刷新されたデザインを採用。ブーストは緑色、カットは赤色で表示され、プラグインの動作をこれまで以上に明確に把握できます。

Techivation M-Puncher 2

特徴

- Punch
- Sustain
- Waveform visualiser
- Peak Boost
- Sharpness
- Thump-Presence
- Tight/Normal/Loose
- Detector range
- Detector
- Diff
- Mix
- Mix Assist
- Make Up
- LR/MS and Stereo Balance
- Level meters
- Internal On-Off Switch
- Internal Menu
- Presets
- Scaleable GUI
- Guided Tour
- A/B Switch
- Undo-Redo Options
- Show/Hide Tooltips

Techivation M-Puncher 2

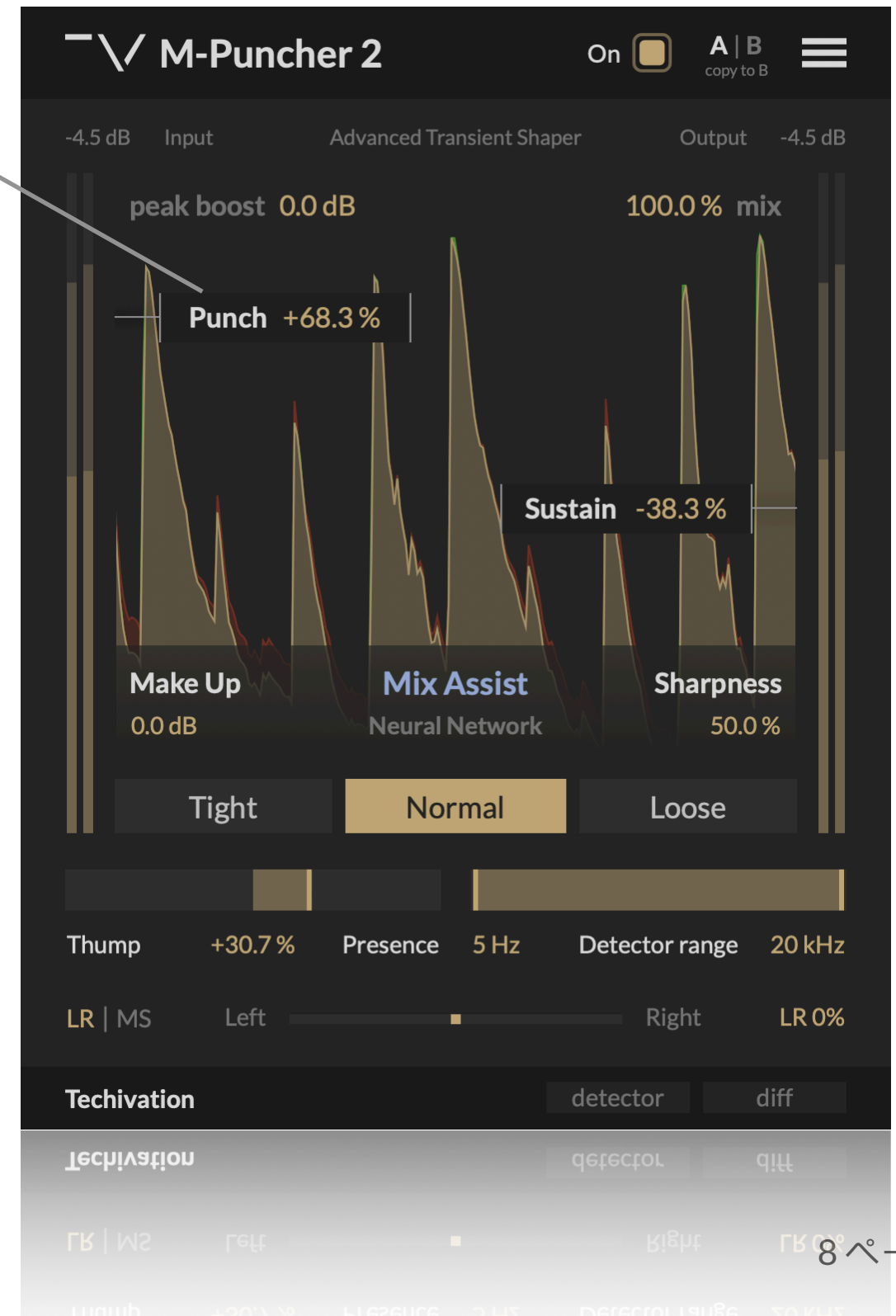
特徴

Punch

「Punch」は信号の攻撃部分（トランジェント）に適用されるブーストまたはカットの量を制御します。「Punch」を上げることでオーディオの打楽器要素のインパクトを強調し、下げることでそれらを柔らかくすることができます。

「Peak Boost」の設定に応じて、「Punch」のブーストには3つのトランジェント強化手法が組み合わせられます：

- トランジェント・ゲイン・シェイピング：精密に計算されたゲイン・エンベロープを適用し、アタック部のレベルをブーストします。
- ダイナミック・トランジェント・サチュレーション：アタック部の倍音成分を増幅し、そのインパクトを強化します。
- コンテキスト認識型コンタリング：トランジェント直前のオーディオ・コンターを再形成し、アタック部を強調します。



Techivation M-Puncher 2

特徴

Sustain

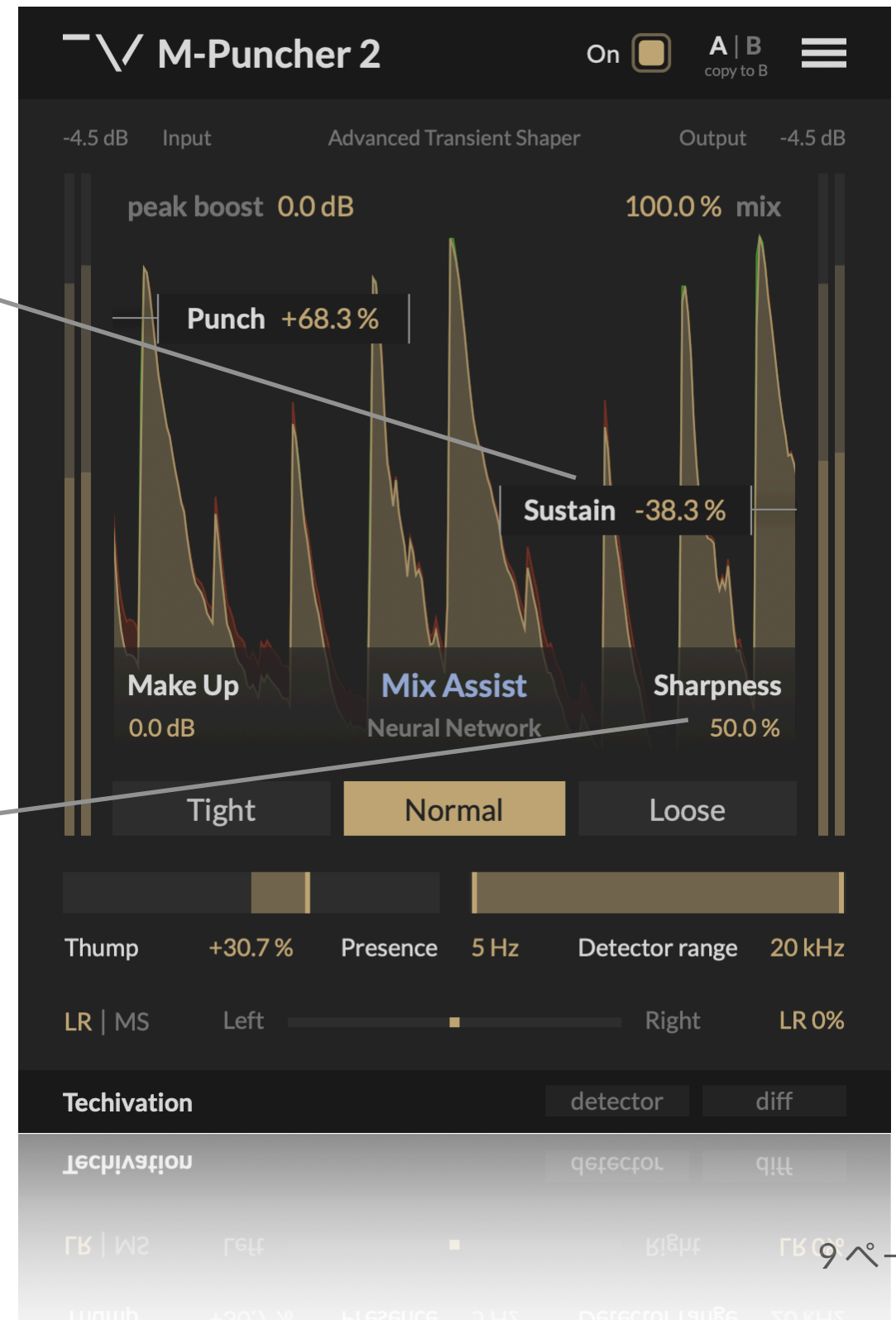
「Sustain」は、オーディオの減衰部分に適用されるブーストまたはカットの量を制御します。「Sustain」を増加させると、音の減衰が長くなり、トラックの密度とアンビエンスが増します。「Sustain」を減少させると、音の減衰が速くなり、トラックによりドライでクローズアップされた打楽器的なキャラクターを与えます。

「Sustain」をブーストしても、オーディオのピークレベルは決して増加しません。

Sharpness

「Sharpness」は「Punch」が適用するトランジェントシェイピングの特性を制御します。高い値では鋭く焦点の合った応答が生成され、打楽器サウンドに最適です。一方、低い設定ではより穏やかで開放的なシェイピングとなり、持続音楽器に完璧です。

内部的には、「Sharpness」は「Punch」によるアタックへのゲイン適用が解放される速度の緩やかさと、ダイナミック・トランジェント・サチュレーションの強度を制御します。



Techivation M-Puncher 2

特徴

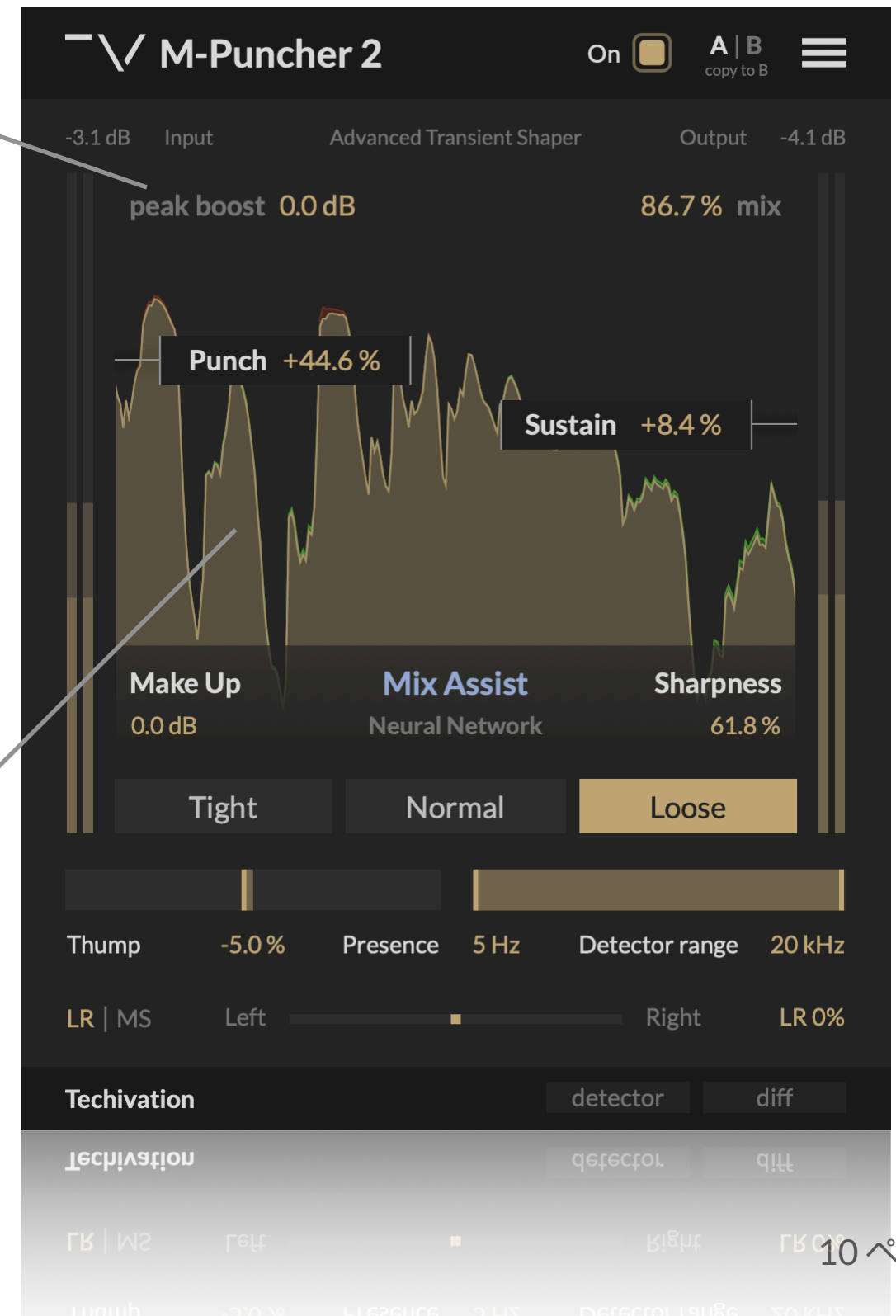
Peak Boost

「Peak Boost」は「Punch」をブーストする際にピークレベルが上昇できる最大値（デシベル単位）を設定します。「Peak Boost」を0.0 dBに保つことで、どれだけ「Punch」をブーストしてもM-Puncher 2は元のピークレベルを維持します。「Peak Boost」設定を高くするとピークレベルの上昇が可能になりますが、選択した値を超える上昇は発生しません。

「Peak Boost」の動作は入力信号レベルに完全に独立しており、固定しきい値を使用しません。代わりに、ピークレベルが元の値からどれだけ増加できるかを制限します。これにより、M-Puncher 2はあらゆる音量やダイナミックレンジの入力に対して同等の効果を発揮します。

Waveform visualiser

内蔵の波形ビジュアライザーにより、M-Puncher 2がオーディオに施す変化をリアルタイムで確認できます。プラグインによるブーストは緑色で、カットは赤色で表示されます。



Techivation M-Puncher 2

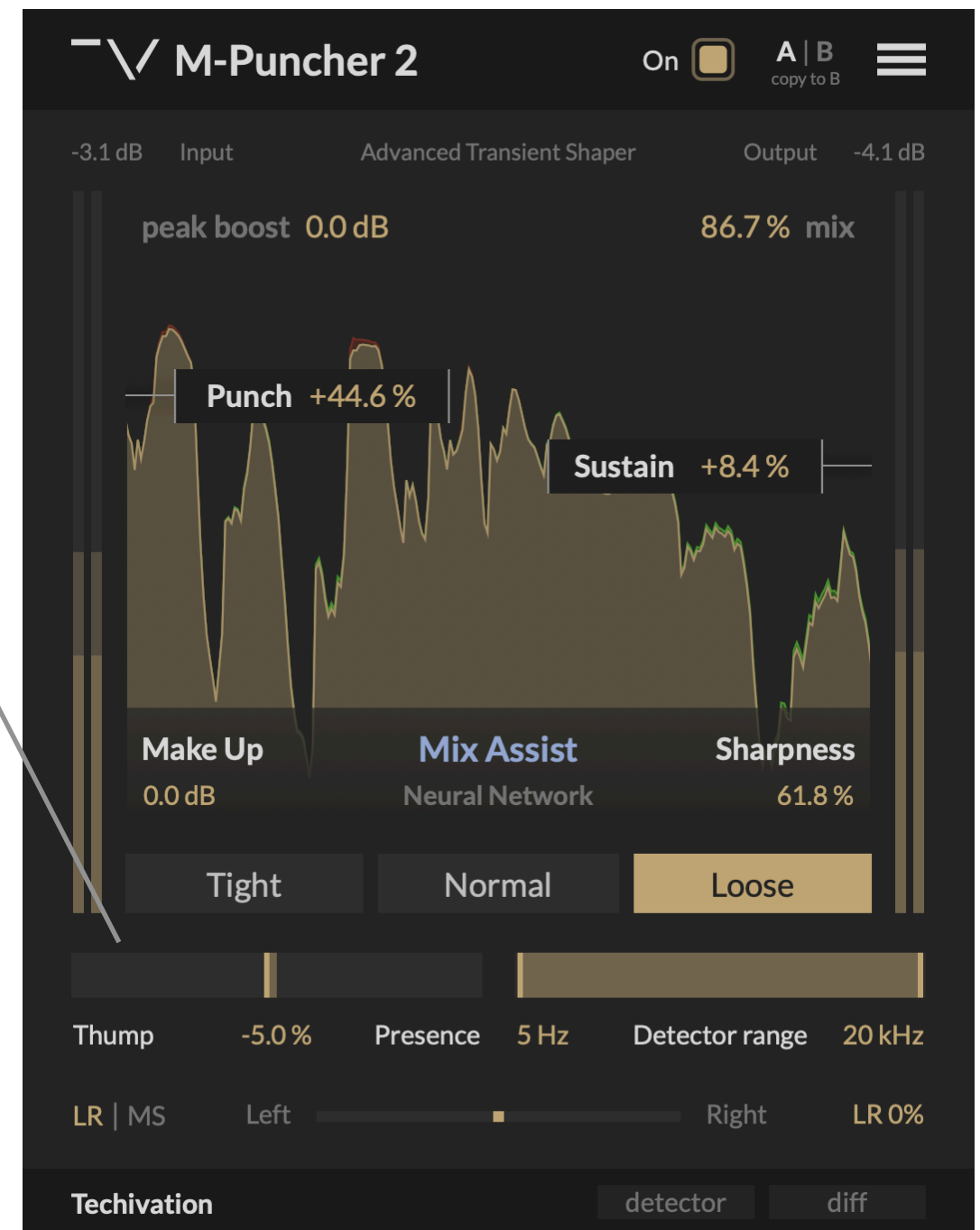
特徴

Thump-Presence

「Thump-Presence」スライダーは、オーディオのアタック部分に低音またはプレゼンスブーストを適用します。これにより、トラックの低域のインパクトや高域の輝きを強調しつつ、元の音のバランスを保つことが可能です。

「Thump-Presence」を0.0%に設定すると、アタックのトーンは変化しません。スライダーを「Thump」または「Presence」方向に動かすと、アタック部分のトーンバランスがそれに応じて変化し、信号の他の部分は完全に影響を受けません。

「Thump-Presence」コントロールは、位相キャンセルの問題なしにトランジェントのクリーンなトーンシェイピングを実現するため、リニアフェーズフィルターを採用しています。



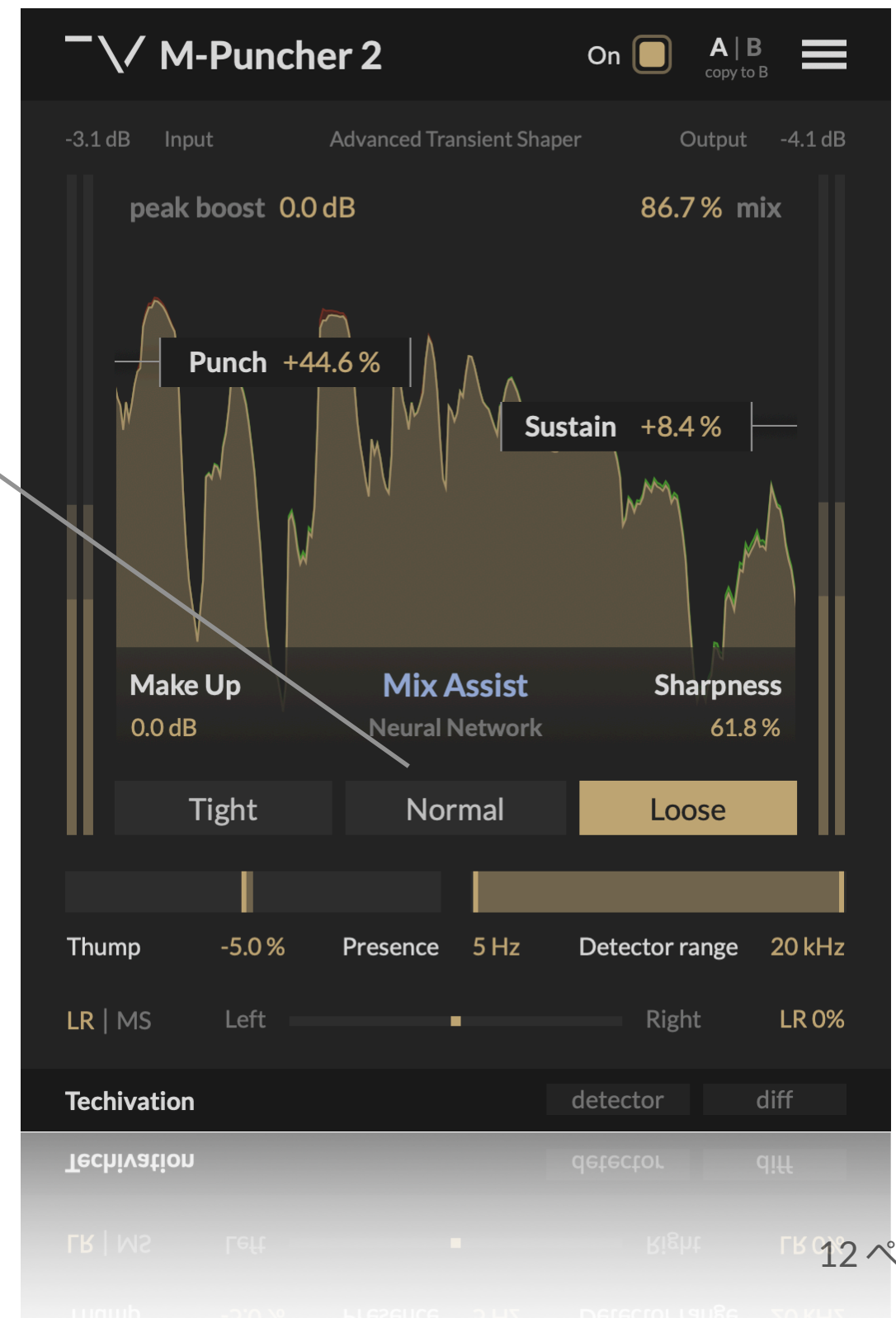
Techivation M-Puncher 2

特徴

Tight/Normal/Loose

「Punch」コントロールを使用してトラックのアタックを形作る際、3種類のエンベロープスタイル（「**Tight**」、「**Normal**」、「**Loose**」）から選択できます。

- 「**Tight**」モードは最速の「Punch」レスポンスを実現します。「Punch」をブーストする際、短く鋭いアタック音を得るのに最適です。
- 「**Normal**」モードは中程度の「Punchiness」レスポンスを実現します。「Punch」をブーストする際、集中したパンチ感とアタック音の開放感のバランスを取ります。
- 「**Loose**」モードは遅い「Punchiness」応答を実現します。「Punch」をブーストする際、より長く開放的な響きの攻撃を生み出します。



Techivation M-Puncher 2

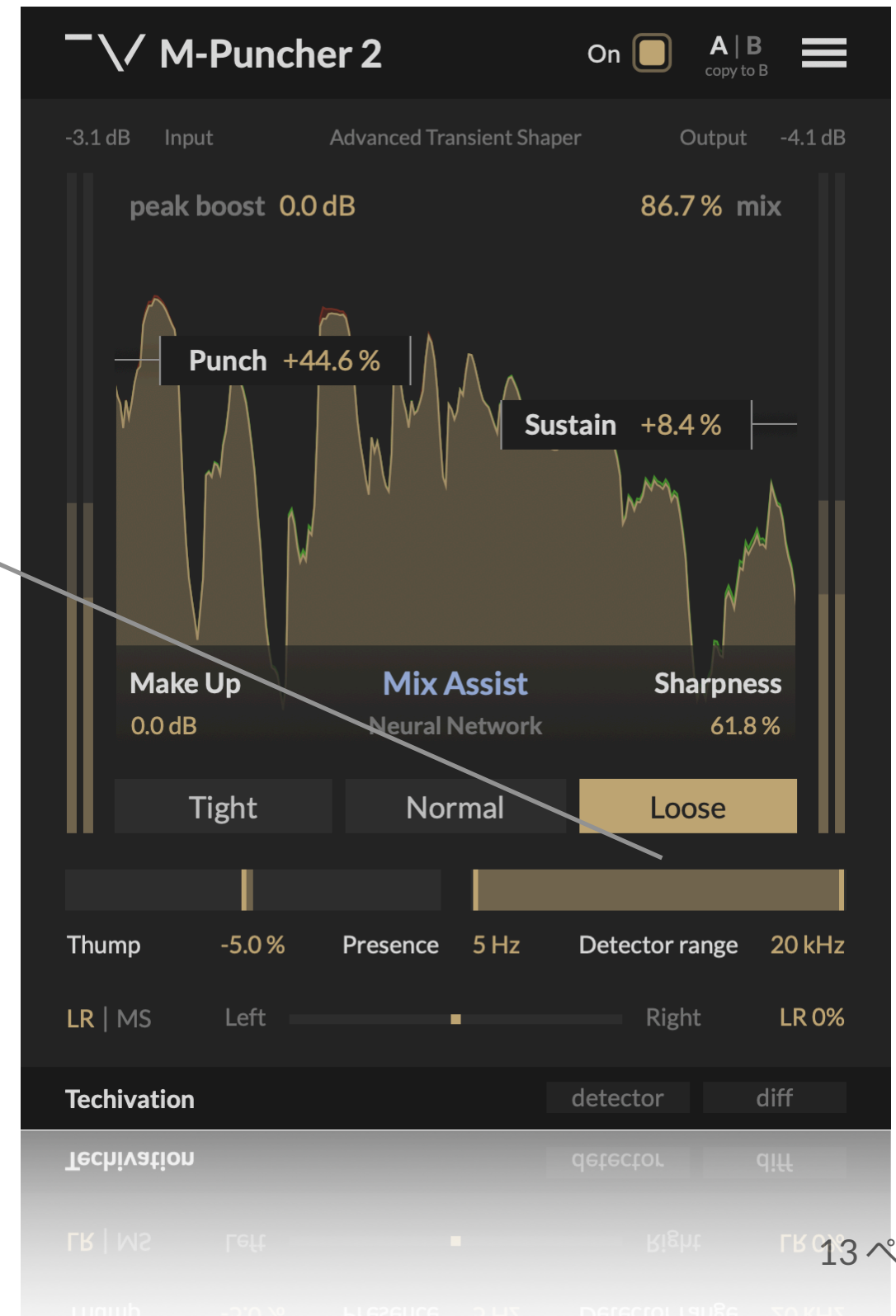
特徴

Detector range

「Detector range」コントロールは、M-Puncher 2がオーディオのアタック部とサステイン部を識別するために分析する周波数範囲を制限します。

例えば、フルドラムキットを処理する場合、高周波数範囲をターゲットにすることでスネアとハイハットのみを、低周波数範囲をターゲットにすることでキックドラムのみを処理対象とすることができます。

「Detector range」は、M-Puncher 2がアタックとサステインの音量エンベロープを計算するために解析する内部サイドチェーンにのみ影響します。処理自体は常に信号の全帯域に適用され、オーディオを複数のバンドに分割することでアタックのインパクトが損なわれることがないよう保証されています。



Techivation M-Puncher 2

特徴

Mix

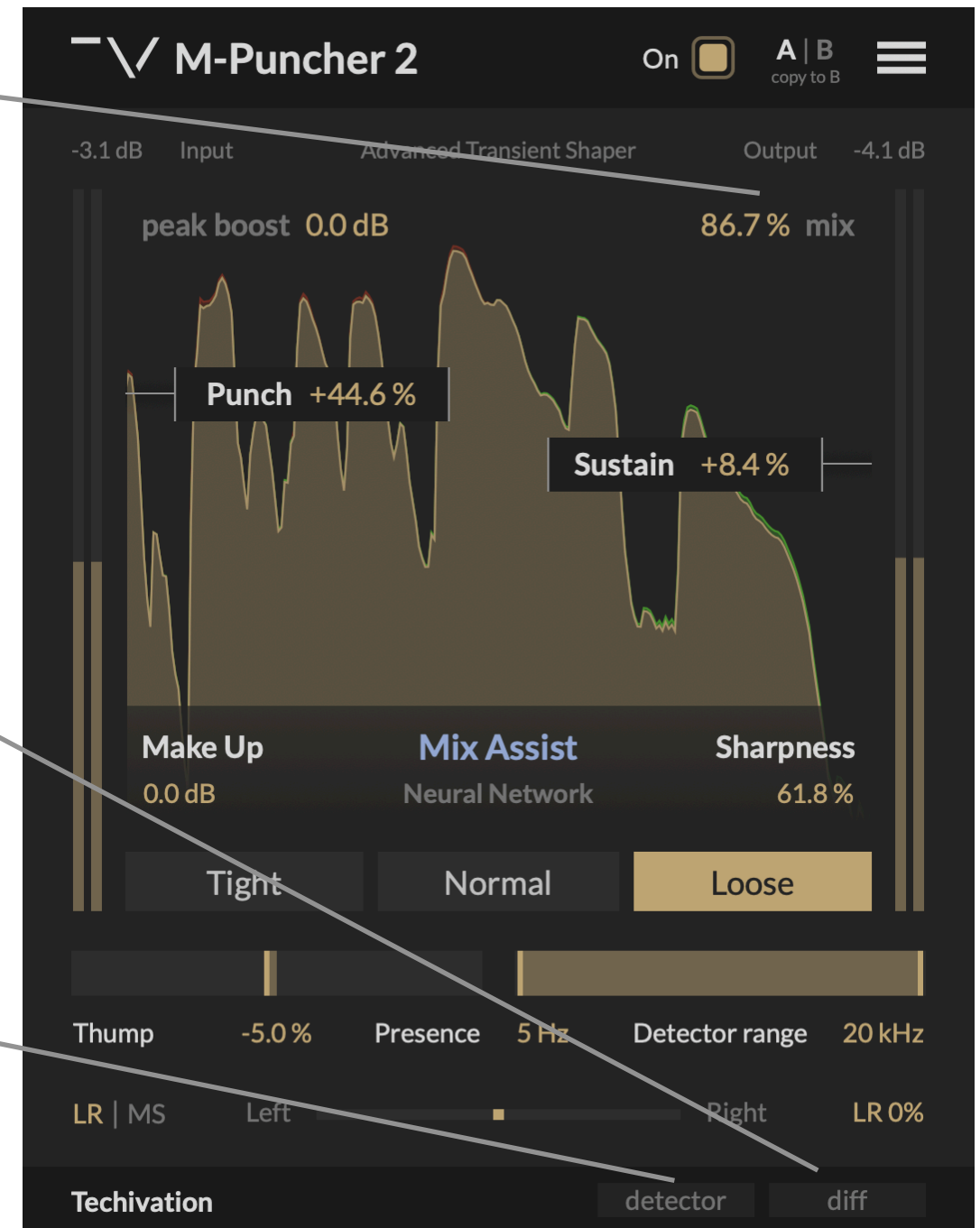
「mix」コントロールは、処理済み信号とオリジナル信号をブレンド可能にし、パラレル処理を素早く実現します。

Diff

「diff」ボタンを押すと、処理済み信号と元の信号の差を聴き比べることができます。これにより、プラグインが加えたスペクトル上の変化を実際に聴き取り、パラメータの微調整が容易になります。

Detector

「detector」ボタンを押すと、「Detector range」コントロールで選択した周波数帯域のみを聴くことができます。これにより、プラグインが反応すべきトラックの要素を微調整することが可能になります。



Techivation M-Puncher 2

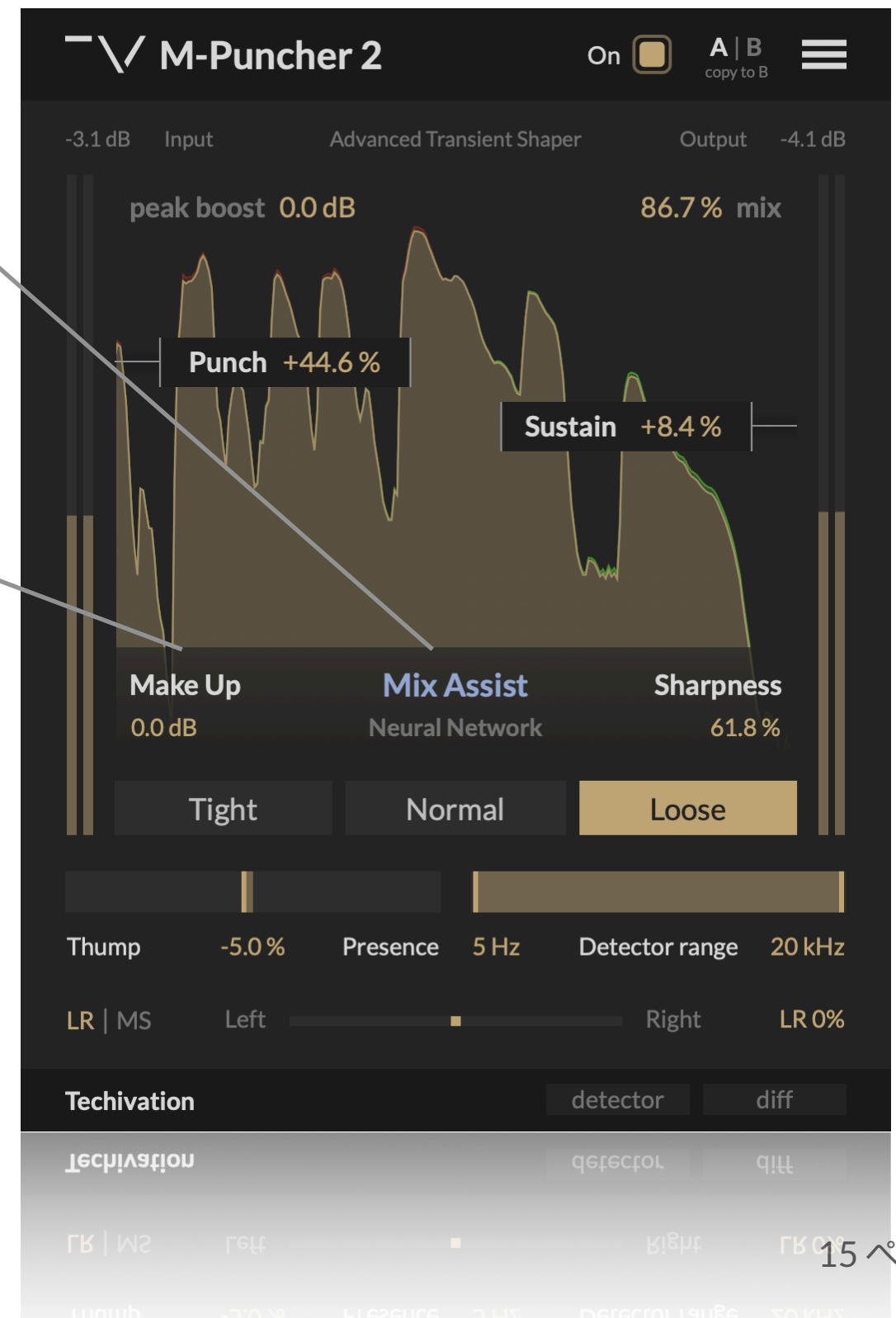
特徴

Mix Assist

「Mix Assist」ボタンを押すと、M-Puncher 2が音源をキャプチャして分析し、インテリジェントに処理パラメータを設定します。プラグインは分析用に3.5秒間のオーディオをキャプチャします。最適な結果を得るため、学習時はトラックの中で最も音の多い部分を再生してください。

Make Up

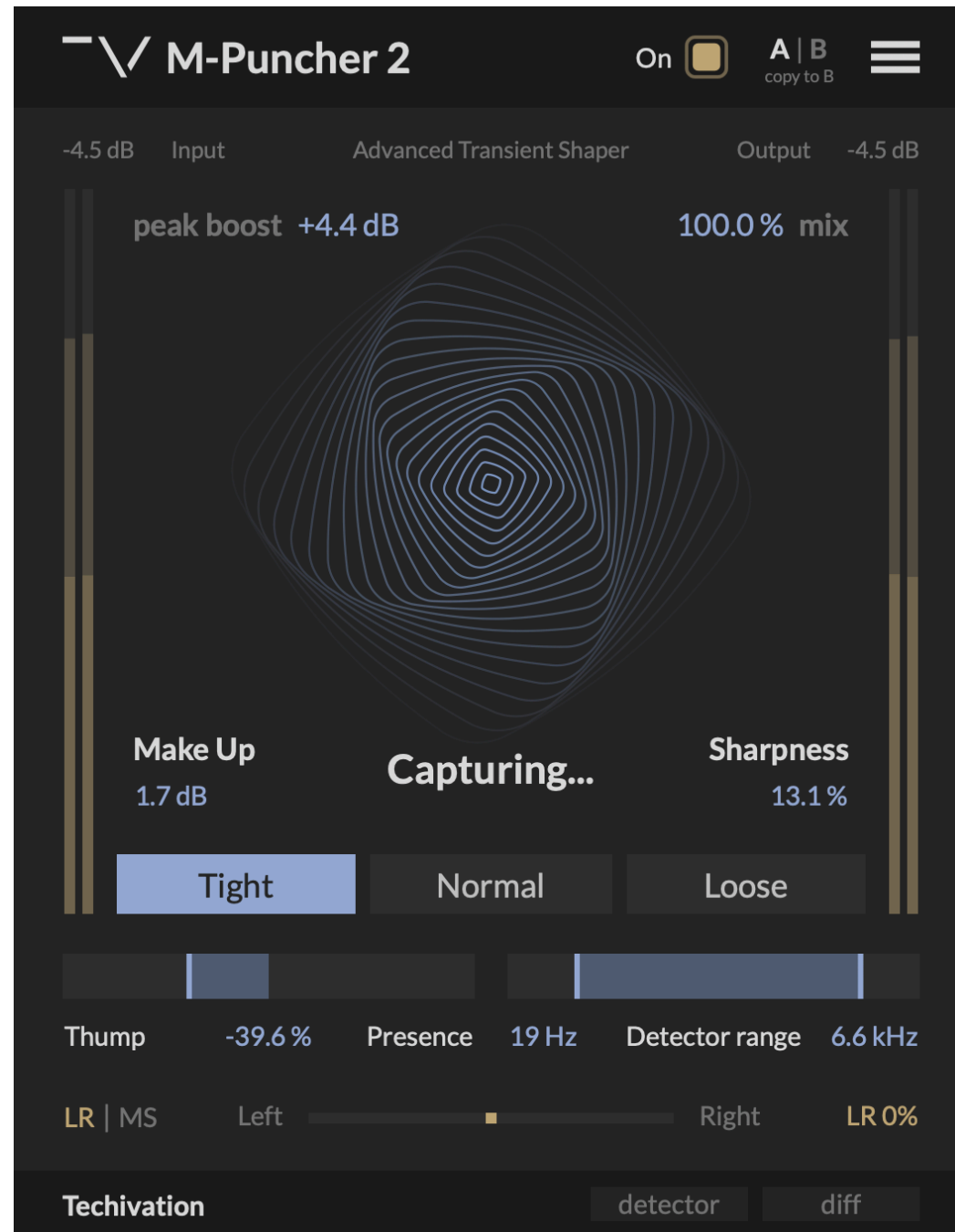
「Make Up」は、処理された信号に適用されるクリーンゲインの量を制御します。



Techivation M-Puncher 2

特徴

Mix Assist



Techivation M-Puncher 2

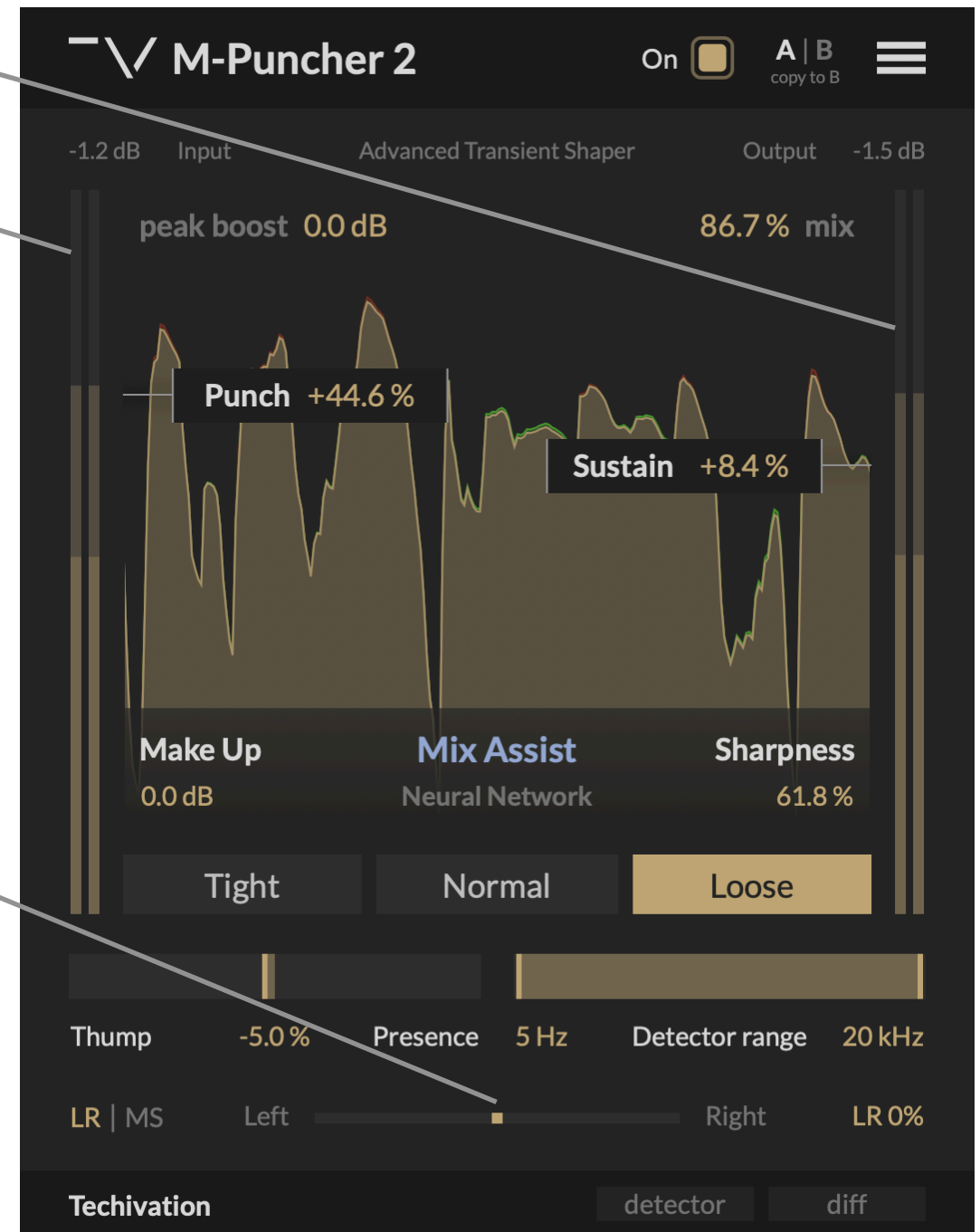
特徴

Input-Output Level Meters

入力および出力メーターは、信号の処理前後のオーディオレベルをリアルタイムで表示します。

Left-Right / Mid-Side

M-Puncher 2の「Left-Right / Mid-Side」セクションでは、処理モードをLR（左右）とMS（ミッドサイド）間で切り替え、プラグインの効果がステレオチャンネルに及ぼすバランスを制御できます。LRモードでは、プラグインが左右チャンネルを独立して処理します。トラックのステレオバランスを保持する必要がある場合は、処理モードをMSモードに切り替えてください。モードの切り替えは、バランススライダー左側の「LR|MS」をクリックして行います。効果の強さはスライダーをドラッグするか、ダブルクリックしてパーセンテージ値を入力して設定できます。



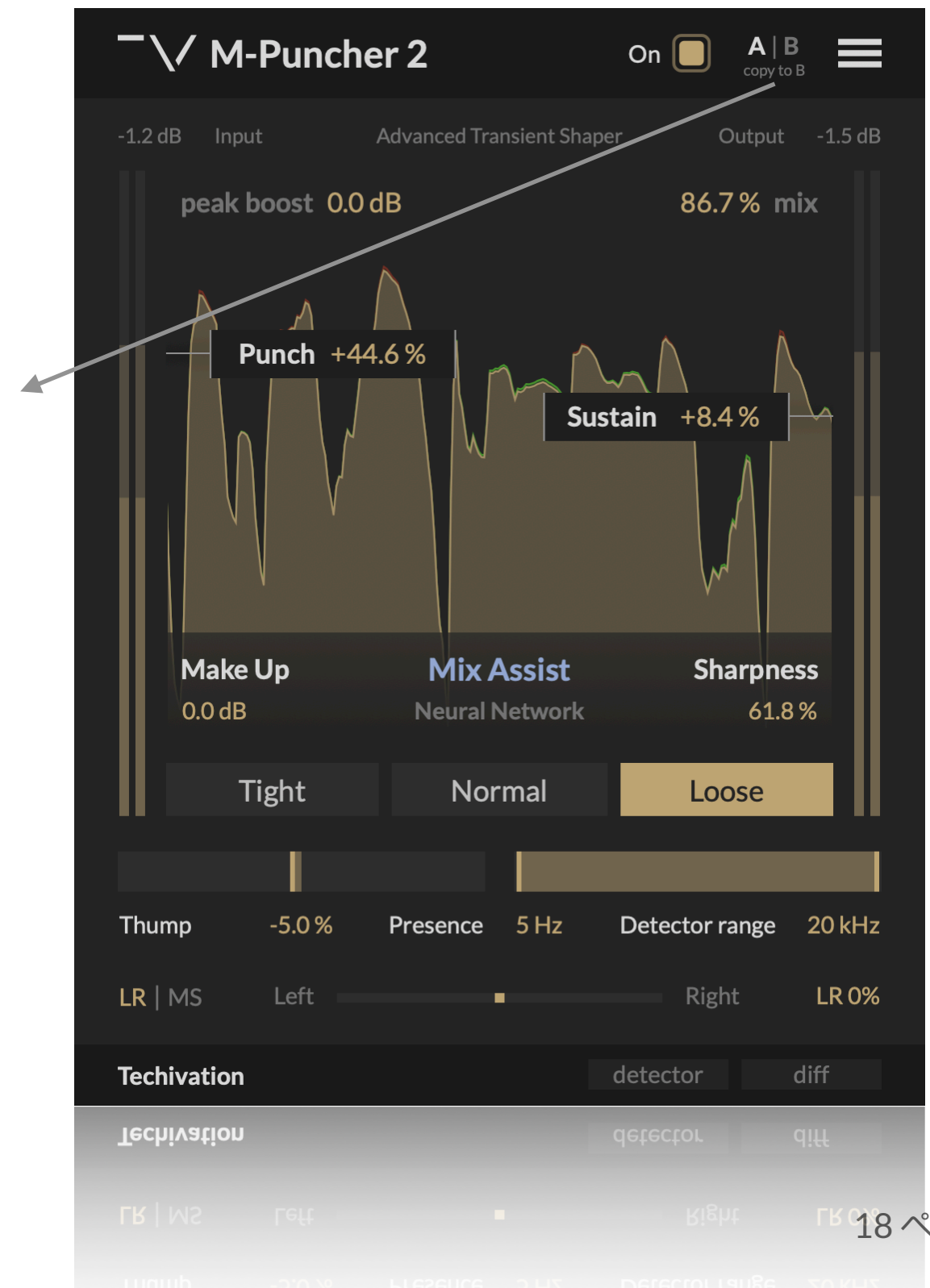
Techivation M-Puncher 2

特徴

A と B の比較

A/Bボタンは、異なるオプションを比較し、オーディオ処理のニーズに最適な設定を見つけるための便利な方法を提供します。クリックするだけで、同じ処理チェーンの2つの異なるバージョンを切り替えて結果を比較できます。さらに、「Copy A to B」と「Copy B to A」機能を使用すると、一方のバージョンからもう一方に設定をコピーし、その効果を比較することで、小さな調整や変更を迅速にテストできます。

A/Bボタンと「コピー」機能を組み合わせて使用することで、処理の微妙な違いを効率的に評価し、最適なアプローチを選択するための情報に基づいた判断が可能です。この効率的なワークフローは時間と労力を節約し、ミックスの創造的な側面への集中を可能にします。



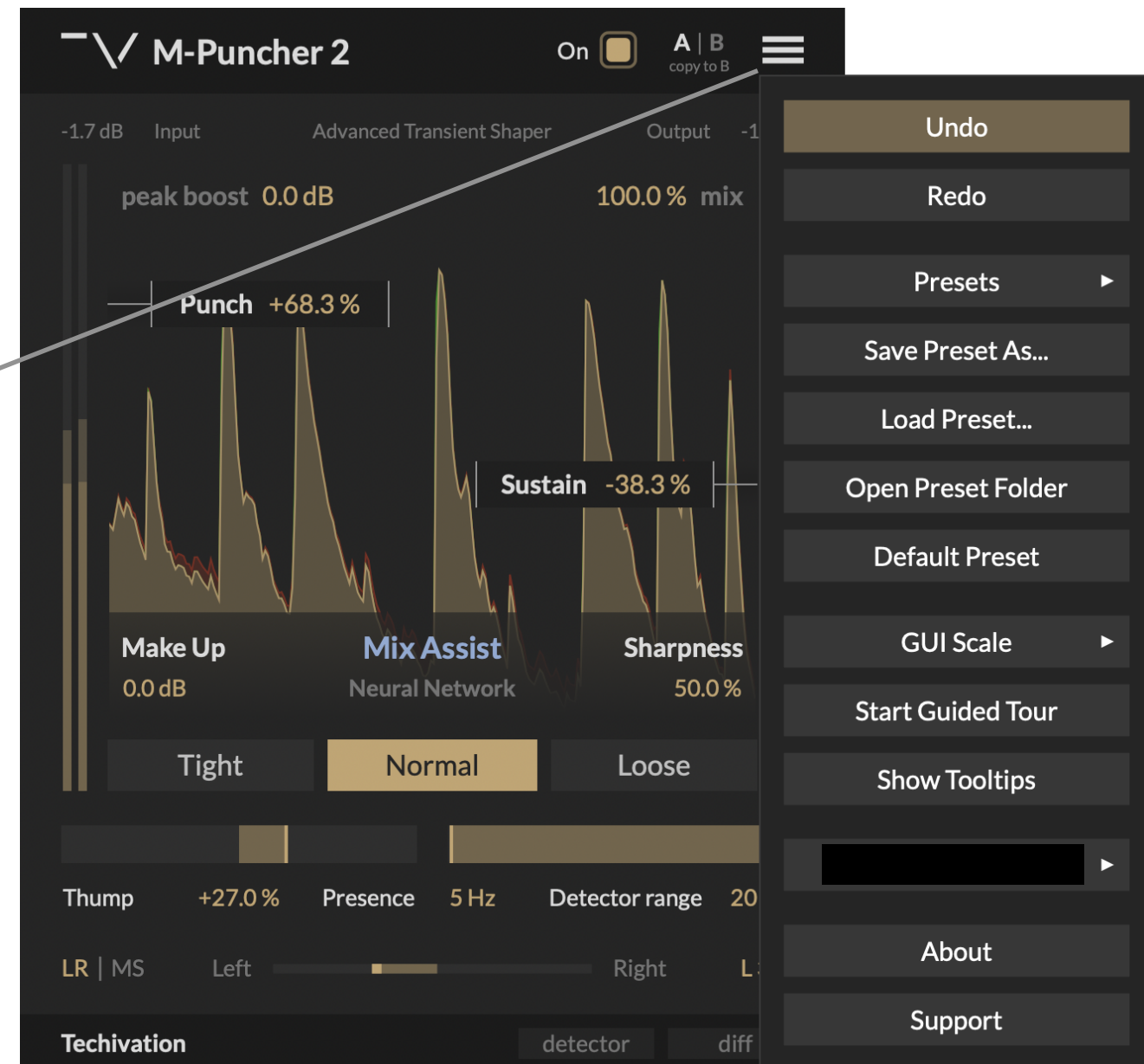
Techivation M-Puncher 2

特徴

内部メニュー

便利な機能のクイックメニュー：

- Undo
- Redo
- Presets
- Save Preset As...
- Load Preset...
- Open preset folder
- Default Preset
- GUI Scale
- Start Guided Tour
- Show/Hide Tooltips
- [Eメール]/Sign in
- About
- Support



Techivation M-Puncher 2

特徴

Undo/Redo

M-Puncher 2プラグインには、便利な「Undo」と「Redo」機能が標準搭載されており、オーディオ処理作業中の安心感をさらに高めます。これらの機能により、以前の設定に戻すことや、誤って行った変更を元に戻すことが容易になり、時間節約と貴重な調整を失うストレスを軽減できます。

「Undo」と「Redo」オプションは、オーディオを永久に変更する心配なく、さまざまな設定や構成を試すことができます。さらに、この機能はワークフローを向上させ、効率的な方法で後戻りして代替の処理経路を探索する手段を提供し、オーディオ制作におけるより適切な判断を下すことを可能にします。



Techivation M-Puncher 2

特徴

Tooltips

M-Puncher 2には、プラグインのメニューから有効化または無効化できる便利な「ツールチップ」オプションが搭載されています。このオプションを有効にすると、マウスを特定のセクションの上にホバーさせるだけで、ユーザーインターフェースの各部分の簡単な説明が表示されます。ツールチップは、プラグインのさまざまなコントロールや設定について迅速に学ぶための優れた方法であり、インターフェースを効果的に操作しやすくします。

各パラメーターについて、その機能、範囲、およびオーディオ信号への影響に関する役立つ情報を提供します。ツールチップオプションを有効にすることは、ワークフローを高速化し、M-Puncher 2プラグインとの作業を容易にする素晴らしい方法です。特定のコントロールの役割が不明な場合は、マウスをその上にホバーさせるだけで、迅速で有益なツールチップが表示されます。



Techivation M-Puncher 2

特徴

GUI Scale

M-Puncher 2のインターフェーススケーリング機能により、GUIのサイズを好みに合わせてカスタマイズし、ワークフローを最適化できます。50%から150%までのスケーリングオプションが用意されており、視覚的スタイルや作業スタイルに合わせてインターフェースをパーソナライズできます。この機能の優れた点の一つは、選択したスケーリング率に関わらず、プラグインのビジュアル品質が一致したまま保たれることです。これにより、インターフェースは拡大または縮小しても、好みの表示サイズに合わせても、クリアで読みやすい状態を維持します。さらに、M-Puncher 2のインターフェーススケーリング機能は、Retinaディスプレイを含むハイエンド品質のモニター向けに最適化されており、多様なデバイス上でプラグインが美しく表示され、信頼性の高いパフォーマンスを発揮します。



Techivation M-Puncher 2

特徴

Presets

プラグインは、既存のプリセットをロードする利便性に加え、画面右上にあるメニューを使用して独自のカスタムプリセットを作成し保存する機能を提供します。

この機能により、特定のミキシングニーズに合わせた多様な設定を迅速にアクセスし適用することができ、ワークフローを効率化し、オーディオ処理タスクの統一されたスタートポイントを提供します。

さらに、独自のカスタムプリセットを保存することで、異なるプロジェクト間で好みの設定を簡単に呼び出すことができ、オーディオ制作における一貫性と効率性を確保できます。



Techivation M-Puncher 2

互換性

プラグインフォーマット: VST, VST3, AU, AAX.

対応プラットフォーム: macOS インストーラーは10.15 (Catalina) 以降をサポートします。

Windows 7以上。64ビットのみ

対応DAW: Ableton Live, Logic Pro, Avid Protools, FL Studio, Cubase, Nuendo, Reaper, などの主要なDAWソフトが発売されている。

活性化

M-Puncher 2 は、弊社のウェブサイトからライセンスを購入し、弊社の条件に従ってアクティベートする必要があります。弊社からライセンスを購入するとすぐに、プラグインにサインインした後、自動的にTechivationアカウントがプラグインを有効化します。1つのライセンスを購入された方は、同時に最大2台のマシンでプラグインを使用することができます。

サポート

サポートに関するお問い合わせは、techivation.com/supportをご覧ください。

権利の詳細については、techivation.com/terms-conditionsを チェックしてください。

ご不明な点がございましたら、Eメール (info@techivation.com) または techivation@gmail.com までお気軽にお問い合わせください。

インストール

M-Puncher 2 のライセンスを購入すると、プラグインにサインインしてアクティベートすることができ、生涯使用することができます。

ソフトウェアのダウンロードはサインアップ/購入時に提供されますが、いつでもTechivation.comで最新のソフトウェアアップデートを入手できます。

ダウンロード後、ファイルを解凍し、お使いのシステムに応じてMacまたはPCのインストーラを選択してください。(警告：PC用のファイルをMacで実行したり、その逆はしないでください)。

- Mac PKGインストーラーをダブルクリックし、指示に従ってください。
- PC/Windows: ファイルの内容を解凍します。セットアップファイルをダブルクリックし、指示に従ってください。

Techivation M-Puncher 2

アンインストール場所

MAC OS

AU: /Library/Audio/Plug-ins/Components/

VST: /Library/Audio/Plug-ins/VST/

VST3: /Library/Audio/Plug-ins/VST3/

AAX: /Library/Application Support/Avid/Audio/Plug-Ins/

その他のデータ: ~/Library/Application Support/Techivation

WINDOWS

VST: Custom path from installer

VST3: \Program Files\Common Files\VST3\

または \Program files(x86)\Common Files\VST3

AAX: \Program Files\Common Files\Avid\Audio\Plug-Ins\

その他のデータ: C:\ProgramData\Techivation 注意：このフォルダ

は隠しファイルなので、まず隠しファイルを見るように設定を変更してください』。